



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	101,090	△5.5	11,541	△11.0	11,972	△11.5	8,315	△9.2
2020年3月期第2四半期	106,989	2.2	12,975	13.4	13,535	14.3	9,153	19.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 13,433百万円(32.2%) 2020年3月期第2四半期 10,158百万円(390.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	165.31	—
2020年3月期第2四半期	181.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	196,270	115,193	58.3
2020年3月期	188,060	105,487	55.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 114,387百万円 2020年3月期 104,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	72.00	72.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	72.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	△5.2	18,000	△15.2	18,300	△16.6	12,300	13.6	244.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	54,189,769株	2020年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,889,742株	2020年3月期	3,888,289株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	50,300,683株	2020年3月期2Q	50,302,404株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2021年3月期2Q 24,564株、2020年3月期 24,564株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

※参考資料 2021年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により、外出の自粛やイベントの制限等、様々な経済活動が抑制されたことで消費行動の変化に伴う対応を迫られ、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては食料品製造企業の使命として感染予防対策を講じながら製造活動を継続し、徹底した品質管理の下、安全・安心な食品を安定的にお届けする努力を継続することで、お客様に満足していただける取組みを推進してまいりましたが、コロナ禍の影響を各事業セグメントで受けたことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、全体では1,010億9千万円と前年同期実績に比べ58億9千9百万円（5.5%）の減収となりました。

損益は、売上高の減収等により、営業利益は前年同期実績に比べ14億3千4百万円（11.0%）減益の115億4千1百万円、経常利益も前年同期実績に比べ15億6千3百万円（11.5%）減益の119億7千2百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ8億3千8百万円（9.2%）減益の83億1千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により外出機会が減少し、いわゆる巣ごもり需要と呼ばれる家庭内消費が増えた影響により、「森永ビスケット」は好調に推移しました。一方、外出機会の減少により、行楽需要等が落ち込んだことから「ハイチュウ」は前年同期実績を大きく下回りました。また、「チョコボール」「ダース」「カレ・ド・ショコラ」「森永甘酒」も前年同期実績を下回り、主力ブランド全体では前年同期実績を下回りました。

その他のブランドでは、「森永ホットケーキミックス」「森永ココア」が巣ごもり需要増加の影響により好調に推移しましたが、「プリングルズ」が2020年3月に販売店契約を終了した影響もあり国内全体では前年同期実績を下回りました。

海外では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により、中国は前年同期実績を下回りましたが、台湾、米国は好調に推移したことで、海外全体では前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は494億2千6百万円と前年同期実績に比べ67億9千9百万円（12.1%）減となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、コロナ禍による減収影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期実績に比べ12億4千7百万円（34.0%）減益の24億1千7百万円となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、積極的なプロモーションを展開した効果に加え、「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、「板チョコアイス」が季節限定から通年販売に変更した影響により前年同期実績を大きく上回り、「パリパリバー」「アイスボックス」等も好調に推移しました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は295億9千3百万円と前年同期実績に比べ44億6千6百万円（17.8%）増となりました。

損益は、主要なブランドが好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ11億8千6百万円（26.4%）増益の56億7千4百万円となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、飲用シーンの提案やプロテニスプレーヤーの錦織圭選手と大坂なおみ選手の名を冠した「i nゼリー<エネルギー KEI SPECIAL>」「i nゼリー<エネルギー NAOMI SPECIAL>」、コロナ禍における健康ニーズを捉えた「i nゼリー<シールド乳酸菌>」の販売などブランドの強化に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う外出機会の減少等の影響により「i nゼリー」の売上高は前年同期実績を大きく下回りました。

「天使の健康」シリーズの通販事業は、「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回り、通販事業全体としても前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は187億3千2百万円と前年同期実績に比べ29億6千4百万円（13.7%）減となりました。

損益は、効果的な広告費の投入、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、コロナ禍による減収影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期実績に比べ13億3千5百万円（28.1%）減益の34億1千2百万円となりました。

[主な商品の前年同期比（単位：%）]

菓子食品部門		冷蔵部門	
森永ビスケット	119	ジャンボグループ	113
チョコボール	91	健康部門	
ダース	93	i nゼリー	80
ハイチュウ	79		
カレ・ド・ショコラ	88		
森永甘酒	98		
菓子食品主力品計	94		

※表内の数値は国内売上にて算出

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は977億5千2百万円と前年同期実績に比べ5.1%減となりました。セグメント利益は115億4百万円と前年同期実績に比べ13億9千6百万円の減益となりました。

<食料卸売事業>

売上高は、21億9千2百万円と前年同期実績に比べ18.7%減となりました。セグメント利益は7百万円と前年同期実績に比べ1億2千3百万円の減益となりました。

<不動産及びサービス事業>

売上高は、8億6千9百万円と前年同期実績に比べ8.0%減となりました。セグメント利益は3億5千5百万円と前年同期実績に比べ4千4百万円の減益となりました。

<その他>

売上高2億7千5百万円、セグメント利益6千7百万円であります。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって生じている経営成績への影響については、「2021年3月期 第2四半期決算短信補足資料」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,962億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ82億1千万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が減少した一方で、建物及び構築物（純額）や機械装置及び運搬具（純額）、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は810億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億9千7百万円減少しております。主な要因は、繰延税金負債が増加した一方で、未払金が減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,151億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億6百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.6ポイント増加し、58.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響が長期化した場合等により、業績予想の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,427	33,006
受取手形及び売掛金	20,969	22,527
商品及び製品	10,885	12,504
仕掛品	383	411
原材料及び貯蔵品	6,264	7,164
その他	4,431	5,050
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	86,328	80,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,206	24,740
機械装置及び運搬具（純額）	16,917	19,118
土地	21,581	21,585
その他（純額）	11,569	11,764
有形固定資産合計	70,275	77,208
無形固定資産		
のれん	294	245
その他	237	235
無形固定資産合計	532	480
投資その他の資産		
投資有価証券	26,175	33,098
退職給付に係る資産	3,085	3,072
繰延税金資産	773	923
その他	924	895
貸倒引当金	△36	△38
投資その他の資産合計	30,923	37,951
固定資産合計	101,731	115,640
資産合計	188,060	196,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,443	19,784
未払金	16,178	9,301
未払法人税等	4,454	2,044
賞与引当金	2,609	2,617
その他	17,169	18,600
流動負債合計	57,855	52,350
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	1,690	5,524
役員株式給付引当金	33	45
環境対策引当金	303	303
退職給付に係る負債	8,169	8,329
資産除去債務	52	53
受入敷金保証金	3,708	3,707
その他	760	762
固定負債合計	24,717	28,726
負債合計	82,573	81,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	64,572	69,264
自己株式	△11,279	△11,286
株主資本合計	89,187	93,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,660	18,793
繰延ヘッジ損益	7	△3
為替換算調整勘定	600	490
退職給付に係る調整累計額	1,211	1,232
その他の包括利益累計額合計	15,478	20,514
非支配株主持分	821	806
純資産合計	105,487	115,193
負債純資産合計	188,060	196,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	106,989	101,090
売上原価	49,479	46,630
売上総利益	57,509	54,459
販売費及び一般管理費	44,534	42,918
営業利益	12,975	11,541
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	379	411
持分法による投資利益	97	—
その他	190	152
営業外収益合計	671	566
営業外費用		
支払利息	33	15
持分法による投資損失	—	6
減価償却費	32	62
その他	44	50
営業外費用合計	111	135
経常利益	13,535	11,972
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	42
特別利益合計	3	42
特別損失		
固定資産除売却損	233	238
その他	3	0
特別損失合計	237	238
税金等調整前四半期純利益	13,301	11,776
法人税、住民税及び事業税	4,406	1,889
法人税等調整額	△321	1,491
法人税等合計	4,084	3,381
四半期純利益	9,216	8,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,153	8,315

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	9,216	8,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,237	5,133
繰延ヘッジ損益	△18	△9
為替換算調整勘定	△167	△100
退職給付に係る調整額	13	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△123	△6
その他の包括利益合計	941	5,039
四半期包括利益	10,158	13,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,134	13,350
非支配株主に係る四半期包括利益	23	82

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,301	11,776
減価償却費	2,931	3,593
のれん償却額	49	49
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△0	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△127	177
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	19	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	3
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△22	—
受取利息及び受取配当金	△383	△413
支払利息	33	15
持分法による投資損益(△は益)	△97	6
固定資産売却損益(△は益)	21	50
固定資産除却損	210	188
売上債権の増減額(△は増加)	2,092	△1,570
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,892	△2,578
仕入債務の増減額(△は減少)	△923	2,358
その他	△1,282	△2,874
小計	13,929	10,828
利息及び配当金の受取額	383	448
利息の支払額	△32	△15
法人税等の支払額	△3,637	△4,369
契約解約金の支払額	—	△4,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,643	2,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,000	—
有形固定資産の取得による支出	△4,554	△8,782
有形固定資産の売却による収入	11	2
無形固定資産の取得による支出	△30	△8
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	5	78
子会社の清算による収入	—	387
その他	△165	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,264	△8,514

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	247	—
自己株式の取得による支出	△8	△6
自己株式の売却による収入	12	0
配当金の支払額	△3,321	△3,623
非支配株主への配当金の支払額	△76	△97
その他	△156	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,302	△3,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	32,549	△10,420
現金及び現金同等物の期首残高	9,836	43,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,385	33,006

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について、当初主に上半期に生じ、下半期に収束に向かうとの仮定を置いておりましたが、今後の拡大や収束時期に関しては不確実性が高く、下半期以降も一定期間にわたり継続するとの仮定に変更し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が長期化した場合等には、将来の連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	103,049	2,697	945	106,692	297	106,989	—	106,989
セグメント間の内部売上高	285	115	1	402	488	890	△890	—
計	103,334	2,813	946	107,094	785	107,879	△890	106,989
セグメント利益	12,900	130	399	13,430	50	13,480	△505	12,975

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△486百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	97,752	2,192	869	100,814	275	101,090	—	101,090
セグメント間の内部売上高	45	86	0	132	466	598	△598	—
計	97,798	2,279	870	100,947	741	101,689	△598	101,090
セグメント利益	11,504	7	355	11,868	67	11,935	△394	11,541

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
- 2 セグメント利益の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2021年3月期 第2四半期決算短信補足資料

【当第2四半期連結累計期間】

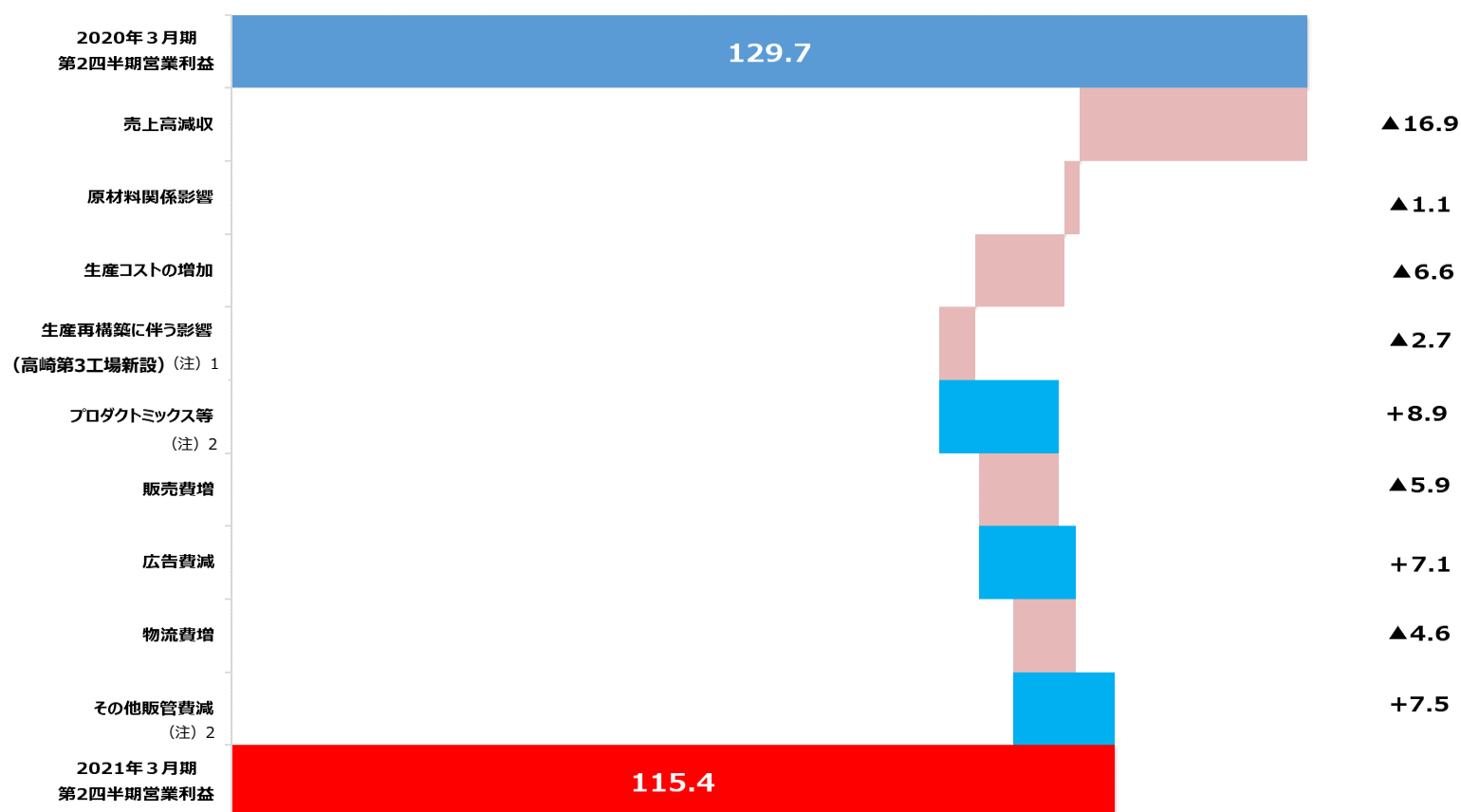
① 業績

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	106,989		101,090		▲ 5,899		△ 5.5
売上原価	49,479	46.2	46,630	46.1	▲ 2,849	△ 0.1	△ 5.8
販売費及び一般管理費	44,534	41.6	42,918	42.5	▲ 1,616	0.9	△ 3.6
販売促進費	19,628	18.3	18,688	18.5	▲ 940	0.2	△ 4.8
広告宣伝費	4,309	4.0	3,591	3.6	▲ 718	△ 0.4	△ 16.7
運賃保管料	7,506	7.0	7,653	7.6	147	0.6	2.0
給料手当	4,208	3.9	4,212	4.2	4	0.3	0.1
賞与引当金繰入額	1,540	1.4	1,430	1.4	▲ 110	△ 0.0	△ 7.2
その他	7,340	6.9	7,342	7.3	2	0.4	0.0
営業利益	12,975	12.1	11,541	11.4	▲ 1,434	△ 0.7	△ 11.0
営業外収益	671	0.6	566	0.6	▲ 105	△ 0.0	△ 15.6
営業外費用	111	0.1	135	0.1	24	0.0	21.7
経常利益	13,535	12.7	11,972	11.8	▲ 1,563	△ 0.9	△ 11.5
特別利益	3	0.0	42	0.0	39	0.0	1,143.3
特別損失	237	0.2	238	0.2	1	0.0	0.7
税金等調整前四半期純利益	13,301	12.4	11,776	11.6	▲ 1,525	△ 0.8	△ 11.5
法人税等	4,084	3.8	3,381	3.3	▲ 703	△ 0.5	△ 17.2
四半期純利益	9,216	8.6	8,394	8.3	▲ 822	△ 0.3	△ 8.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	0.1	78	0.1	16	0.0	25.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,153	8.6	8,315	8.2	▲ 838	△ 0.4	△ 9.2

② 営業利益増減分析

(単位:億円)



(注) 1. 販管費計上。

2. 【通期予想】(2020年5月14日)において「その他販管費減」に含めておりましたプリングルズ販売店契約終了による影響は、費用の構成に応じて「プロダクトミックス等」及び「その他販管費減」に区分して表示しております。

③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	103,049	97,752	▲ 5,297	△5.1
(売上高構成比)	(96.3%)	(96.7%)		
セグメント利益	12,900	11,504	▲ 1,396	△10.8
食料卸売				
売上高	2,697	2,192	▲ 505	△18.7
(売上高構成比)	(2.5%)	(2.2%)		
セグメント利益	130	7	▲ 123	△94.1
不動産及びサービス				
売上高	945	869	▲ 76	△8.0
(売上高構成比)	(0.9%)	(0.8%)		
セグメント利益	399	355	▲ 44	△11.0
その他				
売上高	297	275	▲ 22	△7.3
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	50	67	17	34.7

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
連結売上高	106,989	101,090	▲ 5,899	△5.5
営業利益	12,975	11,541	▲ 1,434	△11.0
食料品製造 売上高	103,049	97,752	▲ 5,297	△5.1
営業利益	12,900	11,504	▲ 1,396	△10.8
菓子食品 売上高	56,225	49,426	▲ 6,799	△12.1
営業利益	3,664	2,417	▲ 1,247	△34.0
冷菓 売上高	25,127	29,593	4,466	17.8
営業利益	4,488	5,674	1,186	26.4
健康 売上高	21,696	18,732	▲ 2,964	△13.7
営業利益	4,747	3,412	▲ 1,335	△28.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	97,958	92,255	▲ 5,703	△5.8
海外売上高	5,090	5,497	407	8.0

海外売上高比率(対連結売上高)	4.8%	5.4%
-----------------	------	------

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額
設備投資額	2,597	10,530	7,933
減価償却費	2,931	3,593	662
研究開発費	1,098	1,115	17

⑥ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の主な影響

影響が生じている主な事業・カテゴリについて			
		第1四半期	第2四半期
マイナス 影響	キャンディ	外出自粛に伴う行楽・土産物需要の減少、在宅勤務増加によるオフィス需要の減少等	左記影響は残るも回復基調
	ゼリー飲料	スポーツ時・朝食代替など従来の主要な飲用シーンの縮小による影響	左記影響は残るも回復基調 期間限定品等による売上増の影響あり
	国内子会社 (事業会社)	主要得意先や販売店舗の休業による販売機会喪失、外出自粛影響による売上減少	左記影響は残るも回復基調
	海外	—	ロックダウン、店舗閉鎖等による影響あり
プラス 影響	ビスケット	家庭内消費、ストック、食事代替など、巣ごもり需要の伸張	左記影響は鈍化傾向 積極的な店頭展開により好調維持
	ケーキ ミックス	外出自粛による在宅時間の増加に伴う内食・手作り需要の高まり	引き続き左記影響あり
	ココア	手作り需要の高まり、健康効果への関心	—

* 対象の国内子会社：食料品製造セグメント（菓子食品事業）2社、食料卸売セグメント1社、不動産及びサービスセグメント1社

【下期予想】

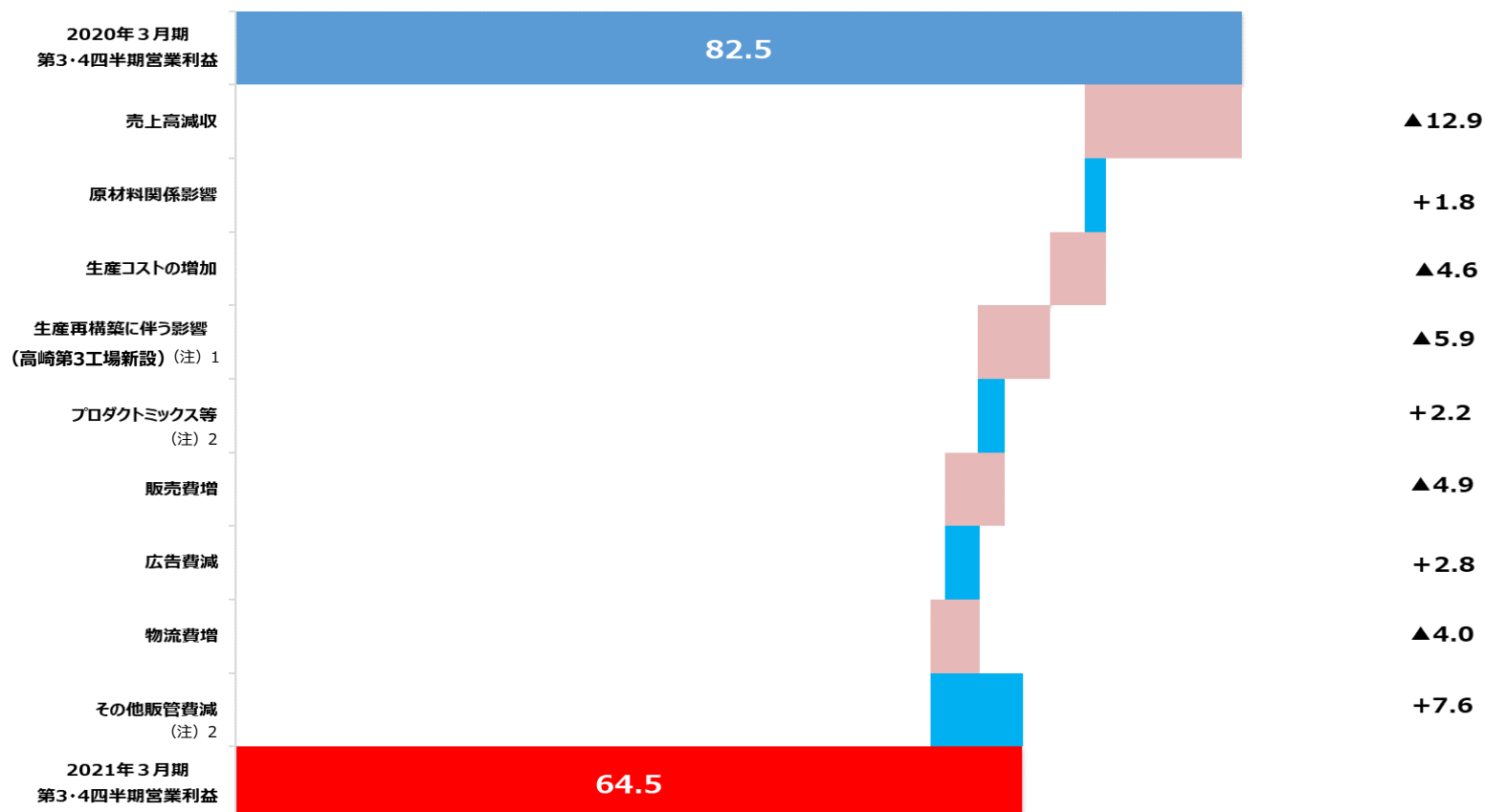
① 業績

(単位:百万円)

	2020年3月期 第3・4四半期	2021年3月期 第3・4四半期	増減額	増減率(%)
売上高	101,889	96,909	▲ 4,980	△4.9
営業利益	8,255	6,458	▲ 1,797	△21.8
経常利益	8,414	6,327	▲ 2,087	△24.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,670	3,984	2,314	138.6

② 営業利益増減分析

(単位:億円)



(注) 1. 原価及び販管費計。

2. 【通期予想】(2020年5月14日)において「その他販管費減」に含めておりましたプリングルズ販売店契約終了による影響は、費用の構成に応じて「プロダクトミックス等」及び「その他販管費減」に区分して表示しております。

③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2020年3月期 第3・4四半期	2021年3月期 第3・4四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	97,068	92,047	▲ 5,021	△5.2
(売上高構成比)	(95.3%)	(95.0%)		
セグメント利益	7,935	6,839	▲ 1,096	△13.8
食料卸売				
売上高	3,536	3,707	171	4.8
(売上高構成比)	(3.5%)	(3.8%)		
セグメント利益	330	203	▲ 127	△38.6
不動産及びサービス				
売上高	956	830	▲ 126	△13.2
(売上高構成比)	(0.9%)	(0.9%)		
セグメント利益	424	307	▲ 117	△27.6
その他				
売上高	327	324	▲ 3	△0.8
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	76	15	▲ 61	△80.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 食料品製造事業の国内、海外売上高

(単位:百万円)

	2020年3月期 第3・4四半期	2021年3月期 第3・4四半期	増減額	増減率(%)
国内売上高	91,034	85,344	▲ 5,690	△6.2
海外売上高	6,034	6,702	668	11.1

海外売上高比率(対連結売上高)	5.9%	6.9%
-----------------	------	------

⑤ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の主な影響

各事業の見込み・対応	
菓子食品 (国内)	ビスケットは好調継続。 キャンディは外出機会減少等の影響を、商品展開・営業取組みによりカバー。
冷菓	市場は下期も堅調に推移。 ブランド強化を図るべく、主力品を中心に広告・販促と連動した取組みを実施。
健康	ゼリー飲料市場の苦戦が見込まれる中で、新商品等によるリカバリーと 新たなニーズの開拓に向けた取組みを強化。
国内子会社 (事業会社)	主要得意先や販売店舗の来客数減少、販売イベント縮小などの影響は残る。
海外	エリアごとに時期は異なるものの、小売店舗の営業再開など平常化を見込む。
その他	販管費を中心としたコスト管理強化を継続。

* 対象の国内子会社：食料品製造セグメント（菓子食品事業）2社、食料卸売セグメント1社、不動産及びサービスセグメント1社